

05.07.14 一新塾名古屋勉強会定例会

日時：2005年7月14日 19:00-21:30

場所：名古屋ボランティア・NPOセンター

参加：加部、水野、百田、近藤（記）

内容：以下参照

1) 納税者権利プロジェクトパンフレット（加部氏・近藤）

背景

納税者権利プロジェクトを推進するに当たり、広く一般の市民向けに活動の内容がみてすぐわかる資料（パンフ）が必要との加部氏よりの提案を受け、パンフレット案を近藤が作成した。

協議

4人で近藤作成のパンフレット案を元に意見交換を行う。

結果

納税者プロジェクトは一新塾理事プロジェクトでもあるので一新塾のロゴを入れる（表面）

以前作成した2005年度活動計画の上半分がわかりやすいのでこれをベースに連絡先などをいれる（裏面）

表面はシンプルな方がわかりやすいので納税者の権利プロジェクト概略図のみとする。

概略図の中に番号等をふり、裏面との関連性を持たせる（表面）

税金1万円の内訳はインパクトがあるのでこれは別紙で1枚とする

以上3枚を持って納税者権利プロジェクトパンフとする

できれば明日の一新塾名古屋講座で現役生への説明資料として利用したいので訂正は明日まで

2) 東海市の町作り（百田氏）

背景

東南アジア青年の船などの経験が一新塾という主体的市民活動を推進する活動を行うNPOと結びつき入塾、早速、事始に東海市のホームページで街づくり関係の資料を入手

協議

百田氏より東海市で行われている街づくり指標の資料を参考に指標化作りについて協議

結果

百田氏より年に3回、この件に関し大会を開いているという説明がなされた

指標化作りは瀬戸市では行政主体で市民主体にはなっていない、ほかの自治体も同じ

目標設定をしていくのはよいことであるが予算全体からみると拡大に歯止めが掛からない危険性がある

個々の数値目標をしていくのはいいが一般市民に感心がないのが現状

数値目標にこだわりすぎると最も大事な理念の部分が軽視され抜け落ちる可能性がある

参考

東南アジア青年の船とは

東南アジア10カ国の青年と日本の青年が約1ヶ月船内で生活を共にしながら参加国を訪問すると言うもの。 コーチングの本間氏やアスクネットの毛受氏らも参加経験ありとのこと